

＜ もくじ ＞	
1. 巻頭言：人新世という言葉に寄せて	1
2. 2022年度連続講座「長寿時代を生き抜く知恵」第2回、第3回のお知らせ	2
3. 研究会からのお知らせ	2
4. 研究会からの概要報告	3
5. 事務局からのお知らせとお願い	5

## 1. 巻頭言：人新世という言葉に寄せて

人新世（ひとしんせいあるいはじんしんせい）という言葉聞くようになった。地球の隅々にまで活動範囲を広げた人間の営為が、地球環境に大きな負荷をかけている状態を地質学用語で表現した用法である。地球史上過去7回の陸上や海上の60%以上の生物絶滅事件は、6～7度の気温変化で生じていることが分かっている。ゆえに地球環境をいかに維持するかという提案とその試行錯誤が行われている。シニア社会学会も取り組んでいるSDGsもそのひとつ。



60年前の1962年に環境問題に道筋をつけたレイチェル・カーソン『沈黙の春』が出版された。その2年後に、カーソン（1907-64年）は惜しまれて死去。自然と人間との関わりを問いかけるとき、彼女の真摯な思索に多くの人びとが引き寄せられている。カーソンは同書でたとえば、次のように訴えている。

この地上に生命が誕生して以来、生命と環境という2つのものが、たがいに力を及ぼしあいながら、生命の歴史を織りなしてきた。といっても、たいてい環境の方が、植物、動物の形態や習性をつくりあげてきた。地球が誕生してから過ぎ去った時の流れを見渡しても、生物が環境をかえるという逆の力は、ごく小さなものにすぎない。だが、二十世紀というわずかのあいだに、人間という一族が、おそるべき力を手に入れて、自然を変えようとしている。

カーソンだけではない。日本の若き詩人は自然との共存の難しさを詩に託していた。金子みすゞ（1903-1930年）は、西条八十に「若き童謡詩人の中の巨星」と称賛されながら、夭折。たとえばみすゞの詩「大漁」は、

朝焼小焼だ/大漁だ/大羽鰻(いわし)の/大漁だ。 浜はまつりの/

ようだけど/海のなかでは 何万の/鰻のとむらい/するだろう。

と詩い、詩は今なお多くのひとに親炙している。祭りと弔いの対比は虚実ないまぜの比喻を超えて、今に至るも人の世のちぐはぐな仕組みを打ち続けている。この思念は人新世のそれと親和的である。

一般社団法人シニア社会学会  
副会長 濱口晴彦

## 2. 2022年度連続講座『長寿時代を生き抜く知恵』第2回、3回のお知らせ

平均寿命が男女とも80歳を超え、ほぼ9割の人が65歳まで生きるといふ本格的な長寿時代がやってきました。長生きはめでたいことなのに、現在の日本では、少子化のさらなる進展、景気の低迷、物価高、コロナ感染への不安、国際関係の緊張など必ずしも長寿を喜べないような不安材料が山積んでいます。安心して高齢期を迎えるうえで、この講座がお役に立てることを心より願っております。なお、オープン講座ですので、会員以外の方の参加も歓迎いたします。

「第1回：ICTで広がる世界～ICT利用のコツと注意事項」は、9月10日（土）に終了いたしました。当日の結果については、次回のJAASNews第278号でご報告します。

### ◆第2回テーマ：介護が必要になったら～上手に使おう介護保険

日 時：10月15日（土） 14：00～16：00

講 師：角田とよ子（一般社団法人シニア社会学会会員、株式会社wiiw キャリアと介護の両立相談室長）

### ◆第3回テーマ：成年後見制度と老後にかかるお金について～ライフプランと終活を考えよう

日 時：11月12日（土） 14：00～16：00

講 師：宗像亜矢子（コスモス成年後見サポートセンター埼玉支部会員・行政書士）

※ 東京家政学院大学との共催

※ 会場：東京家政学院大学三番町キャンパス 1301 教室

※ Zoom 併用によるハイブリッド開催

※ 参加費：会員・非会員共に 各回1,000円（支払い方法：Peatix、口座振り込み、当日会場にて支払の何れか）、学生無料

チラシを添付しますので、第2回および第3回についてお申込みいただければ幸いです。

## 3. 研究会からのお知らせ

### (1) 第25回「YNS やまぶき任意後見サポート会」開催のお知らせ

1) 日 時：2022年9月24日（土） 17：00～20：00

2) 場 所：荒川区町屋2-21-2 フレスコ町屋 201

3) 発表者：鈴木 眞澄及びその他 YNS やまぶき任意後見サポート会

4) テーマ：認知症と任意後見制度

劇団「<sup>びしょうざ</sup>B笑座」第12回。

「認知症とともに生きる」です。

認知症らしさを体験することで新たな発見が生まれます。

劇団員募集しています。Zoomの参加もできます。

\*お問い合わせは、鈴木 眞澄（mme\_masumi@yahoo.co.jp）迄お願い致します。

11月5日、江東区社会福祉士会で福祉劇団として開催予定です。

### (2) 第36回「ライフプロデュース」研究会開催のお知らせ

1) 日 時：2022年10月5日（水） 17：30～19：30

2) 場 所：Zoom 開催

3) テーマ：

1. 「これでいいのか、日本語の乱れ、あなたのその日本語、間違っています。」

（柴本淑子さん）

2. 「地域包括ケアシステムから学ぶコミュニティ in 高崎市」

（清水春代さん）

※ ご連絡ご質問は、中村昌子（nakamurayoshiko6@gmail.com）までお願いします。

### (3) 第80回「シニア社会のリテラシー」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2022年9月22日（木） 15:00～18:00
- 2) 場 所：早稲田大学・国際会議場4階第7共同研究室
- 3) テーマ：発表と討議 ― 職場における老若男女共同参画社会
- 4) 発表者：安田 和紘
- 5) 参加費：300円

※（テーマは、都合により変更になりました。）

お問い合わせは、島村（ken-sima1941@jcom.home.ne.jp）までお願い致します。

### (4) 第145回「社会保障」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2022年10月26日（水） 18:00～20:00
- 2) 報告者：小矢野正夫（小矢野キャリア研究所代表）
- 3) テーマ：「時代の変遷、世代の変化、行動の変容～自分事として「高齢化」「キャリア」を考える」
- 4) Zoom でいたしますので、参加を希望される方は、阿部と小島にご連絡ください。  
阿部富士子 fujiko-s@jeans.ocn.ne.jp      小島みさお kojima.misao01@gmail.com

※ ご質問がありましたら、阿部（旧姓佐藤）まで  
090-4436-6853

## 4. 各研究会の概要報告

### (1) 第24回「YNS やまぶき任意後見サポート会」の報告

- 1) 日 時：2022年8月27日（土） 17:00～20:00
- 2) 場 所：荒川区町屋2-21-2 フレスコ町屋 201
- 3) 発表者：鈴木 眞澄及び会員（YNS やまぶき任意後見サポート会）
- 4) テーマ：認知症を楽しく過ごすには

劇団「<sup>びしょうざ</sup>B笑座」第11回。

「人形劇」も混ぜて、楽しく寸劇を行いました。日々の練習の成果がでているでしょうか。Zoom 参加者も増えました。今後に活かしたいと思います。

### (2) 第143回「社会保障」研究会の報告

- 1) 日 時：2022年8月24日（水） 18:00～20:15
- 2) 報告者：増田雅暢（東京通信大学教授）
- 3) テーマ：介護保険と介護者支援
- 4) 参加者：23名

家族を介護している介護者は、全国で約700万人と推計される（2016年）。全人口の20人に1人は介護者。このうち60歳以上の者が約4割を占める。在宅介護の状況に関して、介護保険検討時の1990年代と現在を比較すると、要介護者のいる世帯では三世帯世帯が大幅に減少、主な介護者では「子の配偶者」が激減し、配偶者または子どもが中心、性別では男性介護者が約3分の1に増加などの変化がみられる。

介護保険が実施されてから20年以上経過したが、介護者の負担は軽減していない。介護者による高齢者虐待の相談・通報件数が増加している。また、介護サービス分野における介護職員の確保難、とくに訪問介護員の人材不足が懸念されている。

日本とドイツの介護保険を比較すると、日本では、介護保険法において介護者支援の規定が皆無に近い。つまり「介護者の権利」が法定化されていない。他方、ドイツでは、介護者支援の具体的

内容が法定化されている。ドイツの介護保険の基本理念のひとつは、事業者よりも家族による介護を優先することで、介護保険の給付は、家族や隣人などの自主的な介護者支援を補完するという位置づけになっている。ドイツの介護者支援としては、①要介護者本人に対する現金給付の制度があり、これは介護者への手当として利用される、②1年間に6週間まで家族介護者に代わって事業者による介護を提供、③介護者に対して、年金保険や労災保険などの各種社会保険の適用、などがある。要するに、家族等の介護（インフォーマルケア）を社会的労働として評価している。日本でも、介護者支援や介護者の権利を法定化すべきではないか、と報告した。

報告後の質疑では、介護保険の検討時期にドイツの制度の理解が不足していた理由は何か、日本の介護保険は要介護者本人に焦点を当てて設計されたものだった、制度検討時の介護者支援が介護手当という現金給付の是非論の議論にとどまってしまった、など活発に意見交換が行われた。

（増田雅暢 記）

### （3）第35回「ライフプロデュース」研究会の報告

1) 日 時：2022年8月31日（水） 17：30～19：30

2) 報告者：岡田慶子（臨床心理士 研究会メンバー）

3) タイトル：「安倍元首相銃撃事件 今問われるもの 我々がこの事件から何を学べるのか」

4) 場 所：Zoom 開催

冒頭 15 分間で、7 月から参加されている 長谷川洋さん（NPO 法人埼玉県健康管理士）が、「コロナ禍に負けない健康法」についてプレゼンされました。具体的には、ウイルスの感染リスクを回避するために、生活習慣を見直し、鼻うがい、舌磨き、呼吸を鍛えることや食生活では黒ニンニクや野菜食を中心とした46種の必須栄養素を意識して摂取すること。また、自律神経を整えてストレスを軽減することなどについての内容でした。続いて、岡田がファシリテーターを担い、以下の2つにポイントをしばって意見交換を行いました。

#### ① 山上徹也の生い立ちから母子関係を中心に、社会背景としての生きづらさについて(抜粋)

親との関係でくるしんでいる人、社会がそういう人をどのように助けたらよいのか、考えてみたい。・親ガチャという言葉が流行っているが、そういう親のもとに生まれて不幸だったと思う。SNSの良くないところは、他の人と比べること。辛い時に辛いと言えない日本の文化も影響している。・私も仕事が大変でこどもはほったらかしだった。娘は犬がいたから普通に育ったと言ってる。人間関係の希薄さを感じる事件だった。・日本人は共感力を失っているのではないかと。特に母親がこどもをしっかりと育てるように学校などでも教えるべきだと思う。・ロストゼネレーション世代には、セブンイレブンや宅配業者など、必死に働いてる割に報われない状況にある人も多い。山上徹也はプライドが高いから、自分の能力、「パワー」を極端な形で世の中に見せつけたかったのではないかと。・現在は核家族化が進んで、こどもは自分の部屋にとじこもって、SNSをしていて、家族間コミュニケーションが不足している。・薬師寺の大谷氏は、「命の大切さ」など人間としての勉強ができていないと言う。挫折した時に「誰でもいいから殺したかった」と大勢の人を巻き込むような極端な発想がでる。人としてのぬくもりを大切にしないような競争社会に、次世代を巻き込んでしまったのは、我々世代の責任かもしれない。・旧統一教会による被害者のネットワークを立ち上げるべきではないのか。複眼でみられないというのが、どうなのだろう。外国では宗教の問題としてとらえているのではないかと。・極端なところに行く前に、歯止めがないのは、社会の問題なのだろうか。また、同様の事件がおきるのではないかと。・家族を含む『世間』を失った場合、『社会』が希薄な日本では、頼る場所もなくて追いつまされたのではないかと。複数の自分の「居場所」が必要だったのだと思う。

#### ② 日本人の公の場でよく見られる、弱者への対応について、欧米と比較してディスカッション(抜粋)

昔は近所におせっかいなおばさん達の存在があったが、現在は隣人の顔程度しか分からない。近所付き合いそのものが無くなっている。欧米社会では、ホームレスへの町ゆく人の反応が、

日本と決定的に異なる。多くの人々が路上や地下道のホームレスへ、さりげなく当たり前のよう  
に施しをしていく。また、群馬県からの参加メンバーから、同じ地域に住んでいる人たちが声を  
掛け合うことができるような地域包括システムを国が試験的に作ろうとしているとの発言等があ  
った。  
(岡田慶子 記)

## 5. 事務局からのお知らせとお願い

### < 会員情報変更時のご連絡のお願い >

コロナ禍中、各種ご連絡をeメールや郵送で行うことが多くなっております。会員情報(氏名・住所・  
eメールアドレス等)に変更が生じた場合は、速やかにご連絡くださいますようお願いいたします。  
なお、電話による連絡はご遠慮いただいております。シニア社会学会事務局あてに、eメール：  
jaas@circus.ocn.ne.jp 又は郵送いずれかの方法にてお知らせくださいますようお願いいたします。

### < 10月 JAAS News の発行日 >

次回 JAAS News 第278号の発行日は、10月19日(水)です。原稿をお寄せ下さる方は、10  
月12日(水)までに、学会宛のeメール添付にてお願いいたします。

シニア社会学会 事務局一同

一般社団法人 シニア社会学会・事務局  
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-21  
ちよだプラットフォームスクウェア1037  
TEL: 03-5259-8515  
(10月4日より火曜日10:00~12:00、13:00~16:00)  
eメール: jaas@circus.ocn.ne.jp URL: <http://www.jaas.jp/>